木材産業等高度化推進資金（拡充）

【平成21年度予算額 全体融資枠（1,268億円）】

事業のポイント

木材の生産及び流通の合理化を促進し、木材供給の円滑化等を図るために必要な低利の運転資金等の貸付けを行います。

（木材産業等高度化推進資金制度の概要）

- ・木材産業等高度化推進資金は、森林組合、事業者、森林所有者等に対し、運転資金等の低利融資を行う制度資金です。
- ・低利融資の資金内容は、立木・素材・木材製品の購入代金、輸送費、木材加工を行うのに必要な作業労賃、造林のための費用等です。

政策目標

「チップ等安定供給資金」については、今後2012年まで平均で毎年55万 ha、計330万 ha の間伐の実施

「素材転換促進資金」及び「高度加工資金」については、平成18年9月に策定された新たな森林・林業基本計画に示されている平成27年の木材利用量2,300百万 m³（H16比：35%増加）の達成

< 内容 >

低利融資の貸付要件を変更し、メニューを創設します。

1．チップ等安定供給資金の創設

3倍協調資金

ア 素材生産業者等がチップ工場等と協定等を締結し、チップ等を製造するための間伐材等の素材生産を行う場合、低利な運転資金を融通します。

イ チップ工場等が素材生産業者等と協定等を締結し、チップ等を製造するための間伐材等の引取りを行う場合、低利な運転資金を融通します。

2倍協調資金

協定等に基づく異業種間の連携と併せ、同業種間の連携を図る者に対して、一層低利な運転資金を融通します。

2．素材転換促進資金の創設（2倍協調資金）

木材製造業者が原材料調達の一部を外材から国産材にシフトするために国産材素材の引取を行う場合、一層低利な運転資金を融通します。

3．高度加工資金の創設（2倍協調資金）

木材製造業者が川上の素材生産業者や川下の工務店等と協定等を締結し、JAS材等の高度加工を行う場合には、一層低利な運転資金を融通します。

【全体融資枠(1,268億円)】

< 事業実施主体 >

独立行政法人農林漁業信用基金

[担当課：林野庁企画課]